

「霊長類学・ワイルドライフサイエンス・リーディング大学院」による派遣研究者報告書

(当経費の支援を受けての出張後、必ずご提出ください)

2021年12月17日	
所属部局・職	野生動物研究センター修士2年
氏名	善本智佳

1. 派遣国・場所 (〇〇国、〇〇地域)
京都市、京都市動物園
2. 研究課題名 (〇〇の調査、および〇〇での実験)
動物福祉実習
3. 派遣期間 (本邦出発から帰国まで)
2021年12月12日 ~ 2021年12月14日 (3日間)
4. 主な受入機関及び受入研究者 (〇〇大学〇〇研究所、〇〇博士/〇〇動物園、キュレーター、〇〇氏)
山梨裕美主席研究員、京都市動物園生き物・学び・研究センター
5. 所期の目的の遂行状況及び成果 (研究内容、調査等実施の状況とその成果：長さ自由)
写真(必ず1枚以上挿入すること。広報資料のため公開可のもの)の説明は、個々の写真の直下に入れること。別途、英語の報告書を作成すること。これは簡約版で短くてけっこうです。
動物福祉実習(2021年12月12日(日)~14日(火)実施)に参加した。本実習の詳細は以下の通りである。
実習のスケジュール
12月12日
山梨さんによる講義。動物福祉の概要と京都市動物園での取り組みについて。実習の流れについての説明。また、行動観察についての基本的なレクチャーと本実習で用いる観察法と観察シートの説明を受ける。
12月13日
行動観察
班に分かれ各動物種の観察。エンリッチメントの効果を評価することが目的である。
エンリッチメントデバイスの製作。
班に分かれ以下のデバイスを作製した。
● フィーダー 消防ホースを十字に編み、編み終わりをボルトとナットで留める(Figure 1)。のちに職員の方にジャガーとゴリラ、マンドリル、などの放飼場に設置していただいた。
● ハンモック 消防ホースでハンモックを編む(Figure 2)。のちに職員の方にゴリラの放飼場に設置していただいた。
● ペンギン放飼場の擬岩 芯を新聞紙と金網で組み立て、その周囲をセメントで固める。
放飼場でエンリッチメントの実践
● フラミンゴ放飼場の地面を耕す。 フラミンゴの足の負担を軽減するため、地面をやわらかくすることが目的である。
● ゴリラ放飼場への砂の導入 放飼場の地面は凹凸があるため、砂が流出してしまう。このため定期的に砂を運び込む必要がある。
12月14日
行動観察
エンリッチメントデバイスの製作
13日同様、班にわかれ以下を作製した。
● ホロホロホイホイ

「霊長類学・ワイルドライフサイエンス・リーディング大学院」による派遣研究者報告書

(当経費の支援を受けての出張後、必ずご提出ください)

木材で鳥がとまれるようやぐらを組む (Figure 3)。もとはホロホロチョウのために作られ、効果が絶大だったためこの名前になったとのこと。今回はキジの放飼場に設置するために作製した。

- ペンギン放飼場の擬岩

前日の続き。表面をセメントでコーティングし滑らかにした。

片づけて解散

エンリッチメント

私が参加した班は13日にハンモックとフィーダー、14日にホロホロホイホイを製作した。フィーダー製作時には対象動物の器用さや放飼場の環境を考慮して網目の粗さや、フィーダー本体の長さなどを調節した。具体的には、ジャガーのものは粗めに、霊長類のものは密になるように注意した。ホロホロホイホイは、止まり木となる部分の枝の太さや高さのバリエーションを確保するように注意した。

行動観察

私はマンドリルの行動観察を行った。13日、14日両日とも午前9時50分から30分間、1分毎のスキャンサンプリングを行った。フィーダー設置前後の採食頻度の変化は Figure 4 のとおりである。

今回設置したフィーダーの効果があった場合、採食時間頻度が上がるのが期待される。しかし、今回の観察では新しくフィーダーを設置する前の12日の方が3個体で高頻度だった。オネの採食頻度は変化しなかった。

マンドリルの放飼場にはもともと十字フィーダーやブイのフィーダーが設置されていた。また、13日は休園日で、観察者しかいなかったのに対し、14日は一般来園者も放飼場の前を訪れ、マンドリルたちが彼らに反応する姿も見られた。この、他にもフィーダーがあった点と、一般来園者の存在が今回の結果に影響していると考えられる。純粋にフィーダーの有無の効果調べるには、来園者やほかのフィーダーの条件を揃えて観察が望まれる。



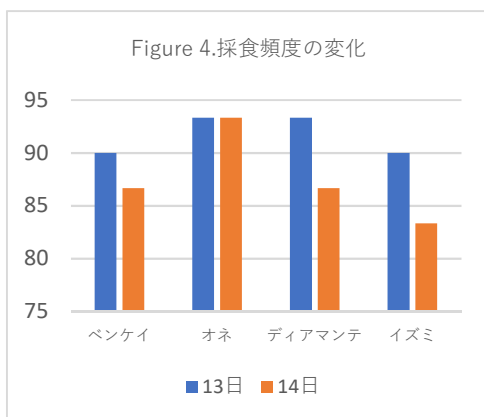
Figure 1. ゴリラ放飼場の十字フィーダー。平田先生撮影。



Figure 2. 製作したハンモック。平田先生撮影。



Figure 3. 制作したホロホロホイホイ



6. その他 (特記事項など)

山梨さんをはじめとする京都市動物園の皆様にも、今回の実習で貴重な体験をさせていただいたことをここで感謝いたします。また、引率・指導して下さった平田先生にも感謝いたします。お忙しい中ありがとうございました。